

JABEE 事務局ニュース No. 3

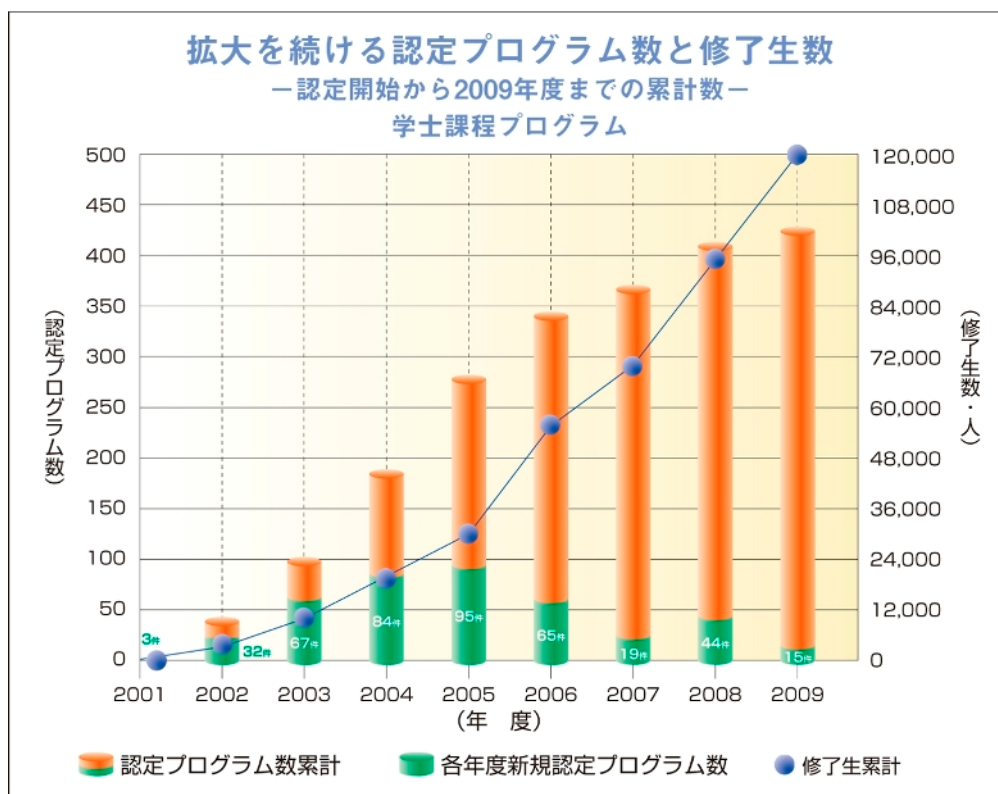
2010年5月19日

1) 理事会

5月13日、2010年度第1回通常理事会を開催しました。下記、2009年度学士認定審査結果の承認の他、2010年度事業計画並びに収支予算、専門職大学院認証評価委員規定および委員会リストを承認しました。6月9日に開催される社員総会の付議事項である2009年度事業報告並びに決算報告、定款一部変更、役員等一部交替を審議しました。

2) 2009年度学士認定審査結果

3月21-22日、4月3日、認定・審査調整委員会（三木哲也委員長）は2009年度学士認定審査案件の調整審議を行い、4月17日、認定会議（岸本喜久雄議長）に最終審査報告書と認定可否案を提出しました。認定会議における認定可否の審議結果は上記理事会で承認されました。2009年度は新規の15プログラム（13教育機関）を含む122件のプログラムを認定しました。2001年度の学士認定を開始して以来2009年度までの9年間に累計で163教育機関の424プログラムを認定したことになります。その修了生の累計は約12万人に達しています。



2009年度の審査は、341名の審査員によって行われました。また、169名の審査員候補者がオブザーバーとして審査に参加しました。審査員・オブザーバーのうち産業界の経験者は178名でした。

2009年度は、高等専門学校プログラムに限って同一校複数プログラム・同日審査を実施しました。教育機関の負担の軽減と分野間の審査の均質性等の観点から、高専以外のプログラムについても、将来的にはこの審査方式に移行したいと考えています。おおむね、同日審査を実施した高専には好評でしたが、審査長がプログラムの審査も受け持ったので、審査長にかなりの負担がかかりました。今後の課題です。2009年度認定審査サマリーレポートはhttp://www.jabee.org/OpenHomePage/kijun/kijun_2.htm をご参照ください。

3) 土木学会における審査講習会・受審校研修会の開催

2010年度の審査に向けた「土木および土木関連分野」、「環境工学およびその関連分野」の審査講習会・受審校研修会が、5月7、8日に土木学会講堂で総勢約120名の参加を得て開催されました。初日は受審側のみ、二日目の一部は審査側と受審側に分かれて行われましたが、多くは一緒に組まれ、審査側・受審側の双方とも共通の講演や活発な全体質疑を通じてJABEEの認定・審査の制度の正しい理解に努めました。

土木学会では、2002年度から審査員養成を目的とした研修会を、2003年度から受審校研修会を行っています。2008年度までは受審校研修会と審査員研修会を別個に行ってききましたが、講演内容の多くが重なることから、また、講演者の負担軽減と受審側と審査側の共通理解の醸成を目的に2009年度から合同で開催しています。(提供：土木学会)

4) UNESCO-UIA

UNESCO-UIAは建築分野の教育認定の国際的協定です。JABEEは2008年12月にUNESCO-UIAの審査チームによる審査を受け、2009年に認証を受けました。このたび、UNESCO-UIAから認証証が届きました。



以上

JABEE事務局ニュースは社員（正会員）、賛助会員、理事、監事、顧問、委員会委員宛に発信しています。同じものをJABEEのホームページにも掲載しますが、みなさんから関係者に転送して情報のより広い共有をしていただければ幸いです。